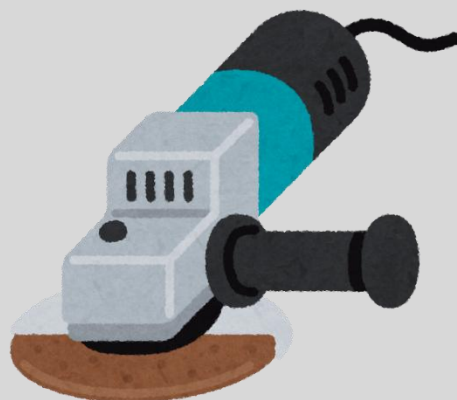


5. 付 録



5.1 センター沿革

平成18年 1月26日	ものづくり基盤センター	設置
平成18年 5月～9月	(暫定サテライト工房 運用)	
平成18年 7月～9月	ものづくり基盤センター	改修工事
平成18年10月26日	ものづくり基盤センター	看板披露式
平成18年10月27日	ものづくり基盤センター	開設式典
平成18年11月～	ものづくり基盤センター	本格運用
平成19年 4月～	cremo 工房 併設	
平成22年 3月～	教育・研究1号館C棟間渡り廊下	併設

スタッフミーティング

第1回	2024年 4月 23日(火)～26日(金)
第2回	2024年 5月 21日(火)～24日(金)
第3回	2024年 6月 21日(金)～26日(水)
第4回	2024年 7月 23日(火)～26日(金)
第5回	2024年 8月 21日(水)～26日(月)
第6回	2024年 9月 24日(火)～27日(金)
第7回	2024年 10月 28日(月)～31日(木)
第8回	2024年 11月 21日(木)～27日(水)
第9回	2024年 12月 20日(金)～25日(水)
第10回	2025年 1月 21日(火)～24日(金)
第11回	2025年 2月 21日(金)～26日(水)
第12回	2025年 3月 25日(火)～28日(金)

5.2 センター関係規則

ものづくり基盤センター運営に関する内規

平成 18 年 4 月 22 日
ものづくり基盤センター長伺定

(目的)

第 1 条 この内規は、室蘭工業大学センター長等に関する規則（平成 17 年度室工大規則第 44 号）第 5 条に定めるものづくり基盤センター長の職務を円滑に遂行するため、ものづくり基盤センター（以下、「センター」という）の運営に関し必要な事項を定める。

(センター会議)

第 2 条 センターに、次に掲げる事項を検討するため、センター会議を置く。

- (1) センターの管理運営に関する事項
- (2) センターの予算・決算に関する事項
- (3) センターの事業計画に関する事項
- (4) センターの評価に関する事項
- (5) センターの広報に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要となる事項

(組織)

第 3 条 センター会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 部門責任者
- (3) 各部門構成員のうちセンター長が指名する教員
- (4) センター長が指名する技術職員
- (5) 学生課長
- (6) 地域連携推進課長
- (7) その他センター長が必要と認める職員

(議長)

第 4 条 センター長は、センター会議を招集し、その議長となる。

2 センター長に事故があるときは、センター長の指名した構成員が前項の職務を代行する。

(構成員以外の者の出席)

第 5 条 センター長が必要と認めるときは、構成員以外の者を会議に出席させ、意見を聴取することができる。

(専門部会)

第 6 条 センターに、専門の事項を調査検討するための専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(企画調整室)

第 7 条 センターに、次に掲げる事項を処理するため企画調整室を置く。

- (1) 第 2 条で掲げた事項の原案の作成に関する事項
- (2) センターの事業の実施に関する事項
- (3) センターの庶務に関する事項
- (4) センターの会計に関する事項
- (5) その他センター長が必要と認める事項

(企画調整室の組織)

第 8 条 企画調整室は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 部門責任者
- (2) センター長が指名する職員

(事務)

第 9 条 センターに関する事務は、学生課及び地域連携推進課の協力を得て、企画調整室で処理する。

附 則

(施行期日)

1 この内規は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

室蘭工業大学ものづくり基盤センター規則

平成18年1月26日

室工大規則第30号

(趣旨)

第1条 この規則は、室蘭工業大学ものづくり基盤センター（以下「センター」という。）の組織及び業務等に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、実践的な教育への支援と学生の自発的な学習活動に対する支援を通して、創造性豊かな人材を育成するとともに、先端加工技術の研究・開発を推進し、ものづくりを通して地域との連携に貢献することを目的とする。

(職員)

第3条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
 - (2) 専任教員
 - (3) 技術職員
- 2 センター長は、センターの業務を統括する。
- 3 センター長に関し必要な事項は、別に定める。
- 4 専任教員及び技術職員は、センター長の命を受けてセンターの業務に従事する。

(構成)

第4条 センターは、次に掲げる3つの部門で構成する。

- (1) 教育・学習支援部門
- (2) ものづくり基盤技術研究部門
- (3) 地域連携部門

(各部門の業務)

第5条 前条に掲げる各部門は、全学の協力を得てそれぞれ次の業務を行う。

- (1) 教育・学習支援部門
 - ① ものづくりに関連する実践的教育の支援に関すること
 - ② 学生のものづくりに係る課外活動の支援に関すること
 - ③ ED教育の支援に関すること
 - ④ その他教育・学習の支援に関すること
- (2) ものづくり基盤技術研究部門
 - ① 高度な精密加工・特殊加工技術の研究推進に関すること
 - ② 学内の多岐に亘る教育・研究活動への支援に関すること
 - ③ ITベースのものづくり支援体制の整備に関すること
 - ④ 学内サテライトと協同で行う研究支援に関すること
 - ⑤ その他ものづくり基盤技術の研究に関すること
- (3) 地域連携部門
 - ① 学外サテライトにおける実践的教育プログラムの企画・立案に関すること
 - ② 地域青少年の育成事業の推進に関すること
 - ③ 地域企業との協働によるものづくり基盤技術の向上に関すること
 - ④ その他地域との連携に関すること

(部門責任者)

第6条 第4条に掲げる各部門に、それぞれ部門責任者を置く。

- 2 部門責任者は、センター長の推薦に基づき、学長が任命する。

(連絡会議)

第7条 センターに、各部門間の連絡・調整を図るため、ものづくり基盤センター連絡会議（以下「連絡会議」という。）を置く。

2 連絡会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 部門責任者
- (3) センターの職員の中からセンター長が必要と認めた者

3 前項の連絡会議には、必要に応じセンターの職員以外の者を加えることができる。

(学長への報告)

第8条 センター長は、センターにおける活動状況を把握するとともに、毎事業年度終了後、活動報告書を作成し、学長に提出するものとする。

(支援職員)

第9条 センターに、センターにおける業務を支援するため、職員を置くことができる。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、学務課及び総務広報課の協力を得てセンターで処理する。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この規則は、平成18年1月26日から施行する。

(委員の任期の特例)

第2条 この規則施行後、最初の運営委員会委員の任期は、第13条の規定に関わらず平成19年3月31日までとする。

附 則 (平成17年度室工大規則第56号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年度室工大規則第97号)

この規則は、平成28年7月1日から施行する。

5.3 主な活動記録

利 用 統 計

令和6年度のセンターの利用者数を以下に表形式で報告する。

表1は令和6年度の利用者のべ人数である。参考のため令和5年度及び令和4年度のものも示しておく。

表 1 令和6年度の利用者のべ人数

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
授業利用	1,045	881	690
センター自主利用	1,469	1,496	1,359
cremo 主催行事利用	201	232	204
学外利用者（地域連携部門）	521	739	363
合計	3,236	3,348	2,616

令和6年度の利用者総数は3,236名となり、昨年度から112名の利用減とわずかに減少している。

内訳をみると授業利用が昨年度と同様に3コース3教科で利用されており、受講人数の制限がなくなったことから164名増となっている。

学生や教職員が独自に加工を行うセンター自主利用が27名減とわずかに減少しているがその内訳は、授業関連の利用が79名増であり授業利用の増加に伴い増えている。研究利用が63名減、ハイブリッドロケットを製作しているサークルや学生フォーミュラーチームの活動が活発であったことからサークル利用が145名増と大きく増加している。その他見学等が1名増、設備利用は Japan Steel Bridge Competition 出場チームの橋梁制作が短期間で完成したため189名減と大きく減少している。

cremo 主催行事である安全講習会は昨年度と同様に1回の受講人数制限を25名とし、メールでの申込による事前予約制にて開催した。室内の換気等に十分に注意を払いながら20回、150名の受講があり、作業時の安全に役立てられている。

各種工作機械の講習会は定員を通常通りの6名とし、旋盤は8回開催し、26名の受講があり、フライス盤は2回開催し、7名の受講、NCプログラミング、マシニングセンタは1回ずつの開催でそれぞれ4名の受講があった。

cremo crew の主催によるものづくり教室は紙製のクラフトバンドを使ったかご編みやレーザー加工したアクリル板を積み重ね、内部にLEDを組み込んだイルミネーション雪だるまの製作など3回開催し、10名の参加があった。

学外の小・中学生、高校生を招いて行うものづくり体験学習等は開催数を減らし10回開催し、学外利用者は218名減である。

月ごとの自主利用者のべ人数を表2に示す。7月の利用者の多くはコンテスト出場チームやサークルによる利用と思われる

自主利用者のべ人数をコース等別に集計したのが表3である。Japan Steel Bridge Competition 出場チームによる利用が多いため、建築土木工学コースの利用が特になくなっている。

表 2 自主利用者のべ人数

	教員	技術職員	学生	合計
4月	1	0	95	96
5月	3	1	114	118
6月	3	0	102	105
7月	1	2	412	415
8月	2	0	120	122
9月	5	1	96	102
10月	3	0	130	133
11月	3	0	120	123
12月	1	0	80	81
1月	0	1	66	67
2月	1	0	53	54
3月	1	0	52	53
合計	24	5	1440	1469

表 3 コース等別自主利用者のべ人数

学科・課・センター等	のべ人数
建築土木工学コース	345
機械ロボット工学コース	193
航空宇宙工学コース	155
電気電子工学コース	7
物理物質システムコース	7
数理情報システムコース	2
環境創生工学系専攻	25
生産システム工学系専攻	275
情報電子工学系専攻	8
創造工学科	1
システム理化学科	4
ロボットアリーナ	2
ガラス工作室	4
サークル等	441

表4に自主加工に利用された設備と利用件数を示す。レーザー彫刻機が更新され、通常通り使用されたため利用者が増えている。旋盤の利用者が大きく増えているのはサークルによる利用が増えたためである。

表 4 自主加工で利用された設備および件数

設備名	件数	設備名	件数
レーザー彫刻機	139	ボール盤	128
高速精密切断機	106	旋盤	98
コンターマシン	73	丸のこ盤	72
平面研削盤	70	工具類	58
両頭グラインダ	55	帯のこ盤	33
マシニングセンタ	16	パーツコーナー	16
NC 旋盤	15	サンダー	15
フライス盤	14	大判プリンター	7
3D プリンタ	2	高速切断機	2
三次元測定器	2	アーク溶接機	1
表面粗さ測定器	1	折り曲げ機	1
ドリル研磨機	1		

学内向け技術講習会

ものづくり基盤センター内にある設備を利用する際には必ず安全講習会を受講し、更に旋盤やフライス盤等の危険を伴う工作機械、特別な知識の必要な機械の使用については、それぞれの工作機械に向けた技術講習会を受講しなければならない。また、レーザー彫刻機やコンターマシン等の比較的取り扱いが容易な設備については使用時に都度、取扱説明を行っている。

令和6年度の技術講習会については定員を6名とし、安全講習会については1回の受講者数を25名程度に増やし、事前申込制により実施した。

講習会名	開催日	場 所	定 員	受講者数
第1回旋盤講習会	2024年 6月20日	機械加工実習室	6名	3名
第2回旋盤講習会	2024年 6月26日	機械加工実習室	6名	4名
第3回旋盤講習会	2024年 8月26日	機械加工実習室	6名	4名
第4回旋盤講習会	2024年 9月11日	機械加工実習室	6名	2名
第5回旋盤講習会	2024年 9月26日	機械加工実習室	6名	5名
第6回旋盤講習会	2025年 2月14日	機械加工実習室	6名	3名
第7回旋盤講習会	2025年 3月11日	機械加工実習室	6名	1名
第8回旋盤講習会	2025年 3月12日	機械加工実習室	6名	4名
第1回フライス盤講習会	2024年 8月28日	機械加工実習室	6名	4名
第2回フライス盤講習会	2024年10月 3日	機械加工実習室	6名	3名
第1回プログラミング講習会	2024年 5月23日	セミナー実習室	6名	4名
第1回マシニングセンタ講習会	2024年 5月30日	機械加工実習室	6名	4名
第1回安全講習会	2024年 4月20日	セミナー実習室	25名	16名
第2回安全講習会	2024年 4月22日	セミナー実習室	25名	19名
第3回安全講習会	2024年 4月27日	セミナー実習室	25名	21名
第4回安全講習会	2024年 5月11日	セミナー実習室	25名	23名
第5回安全講習会	2024年 5月18日	セミナー実習室	25名	18名
第6回安全講習会	2024年 5月29日	セミナー実習室	25名	16名
第7回安全講習会	2024年 6月 5日	セミナー実習室	25名	2名
第8回安全講習会	2024年 6月11日	セミナー実習室	25名	7名
第9回安全講習会	2024年 6月22日	セミナー実習室	25名	7名
第10回安全講習会	2024年 7月13日	セミナー実習室	25名	1名
第11回安全講習会	2024年 7月17日	セミナー実習室	25名	1名
第12回安全講習会	2024年 8月19日	セミナー実習室	25名	8名
第13回安全講習会	2024年 9月19日	セミナー実習室	25名	3名
第14回安全講習会	2024年11月 9日	セミナー実習室	25名	1名
第15回安全講習会	2024年11月22日	セミナー実習室	25名	2名
第16回安全講習会	2024年12月14日	セミナー実習室	25名	1名
第17回安全講習会	2024年12月20日	セミナー実習室	25名	1名
第18回安全講習会	2025年 2月12日	セミナー実習室	25名	1名
第19回安全講習会	2025年 3月18日	セミナー実習室	25名	2名
第20回安全講習会	2025年 3月22日	セミナー実習室	25名	1名

表 主な地域連携事業
令和6年度 ものづくり基盤センター・地域貢献部門（ものづくり教育関係）：学内

日程	学校・団体名	内 容	参加人数
令和6年6月12日（水）	岩手県立釜石高等学校	見学(教諭2名) 担当：入試戦略課	2
令和6年6月13日（木）	室蘭市内高校新聞部	見学、体験(キーホルダー作り)、取材 生徒39名引率8名	47
令和6年8月3日（土）	室蘭工業大学オープンキャンパス	見学バスツアー 高校生・保護者	166
令和6年8月6日（火）	ふるさとリーダー研修(主催:胆振教育局)	ものづくり教室 (キーホルダー作り)生徒14名引率2名	16
令和6年9月5日（木）	室蘭市立みなと小学校4年1組	ものづくり教室 (キーホルダー作り)生徒29名引率1名	30
令和6年9月6日（金）	室蘭市立みなと小学校4年2組	ものづくり教室 (キーホルダー作り)生徒35名引率3名	38
令和6年9月17日（火）	北海道室蘭東翔高等学校2年	見学(アカデミックインターンシップ) 生徒11名引率1名 担当：入試戦略課	12
令和6年10月15日（火）	香港城市大学	見学 担当：経営企画課	4
令和6年11月7日（木）	室蘭市立白蘭小学校6年	ものづくり教室 (キーホルダー作り)生徒30名引率3名	33
令和6年11月15日（金）	室蘭市立蘭北小学校3年	ものづくり教室 (キーホルダー作り)生徒35名引率2名	37
令和6年11月19日（火）	胆振管内社会教育主事研修会	講義、ものづくり体験(メダル作り) 担当：研究推進課	14
令和6年11月22日（金）	室蘭市立天神小学校6年2組	ものづくり教室 (カントリーサイン作り)生徒33名引率2名	35
令和6年11月29日（金）	室蘭市立天神小学校6年1組	ものづくり教室 (カントリーサイン作り)生徒32名引率2名	34
令和6年12月20日（金）	室蘭市立本室蘭中学校2年	ものづくり教室 (ヘーパ―ウェイト作り)生徒24名引率4名	28
令和7年3月7日（金）	NCネットワーク	見学・講義	14
小 計			510

令和6年度 ものづくり基盤センター・地域貢献部門（ものづくり教育関係）：学外

日程	学校・団体名	内 容	参加人数
令和6年5月21日（火）	旭川高等専門学校	出前講義	50
令和6年5月29日（水）	六ヶ所村高等学校	出前教室（キーホルダー作り 1学年35名）	35
令和6年6月4日（火）	大樹町 大樹高等学校	出前講義(1年35名2年40名)	75
令和6年7月4日（木）	松江南高等学校	出前講義	40
令和6年7月17日（水）	宮古島市立南小学校	出前教室（キーホルダー作り 6学年）	94
〃	宮古島市立福嶺小学校	出前教室（ペーパーウエイト作り 全学年）	11
令和6年7月18日（木）	宮古島市立鏡原小学校	出前教室（キーホルダー作り 6学年）	43
〃	沖縄県立宮古高等学校	出前講義・実験	40
〃	宮古島市立小中一貫校結の橋学園(伊良部島小学)	出前教室（キーホルダー作り 6学年）	40
令和6年7月19日（金）	多良間村立多良間小学校・多良間中学校	出前教室 (キーホルダー作り 小学校4〜6年30名・中学校35名)	65
令和6年8月9日（金）	とましんこどもものづくり教室	出前教室（カントリーサイン作り 小学校3〜6年）	16
令和6年8月28日（水）	北海道室蘭工業高等学校	出前教室（カントリーサイン作り4名 教員2名）	6
令和6年9月18日（水）	隠岐島前高等学校	出前教室（キーホルダー作り 1年）	42
令和6年10月11日（金）	帯広三条高等学校	出前講義（1年）	240
令和6年11月1日（金）	藻岩高等学校	出前講義（1・2年）	15
令和6年11月5日（火）	室蘭市立室蘭西中学校	出前教室（キーホルダー作り 1年）	70
令和6年11月11日（月）	北海道大樹高等学校	リモート講義（1年40名2年40名）	80
令和6年11月22日（金）	松江工業高等専門学校	出前講義（第4学年）	200
令和6年12月16日（月）	大樹町 大樹小学校(6年生)	出前ものづくり教室（卵パッケージ）	43
〃	大樹町 大樹中学校(2年生)	出前ものづくり教室（キーホルダー作り）	48
令和7年2月20日（木）	島根県阿井小学校	出前ものづくり教室 (キーホルダー作り 5年生12名 6年生9名)	21
〃	島根県仁多中学校(2年生)	出前ものづくり教室（キーホルダー作り）	55
小 計			1329
令和6年12月21日（土）	第34回室蘭工業大学テクノカフェ ものづくりトーク 「北海道開拓と坂本龍馬」	室蘭工業大学 教授 清水 一道 北海道坂本龍馬記念館 館長 林 洋二氏	40
合 計			1879